

- なぜルイ・ブライユの本を選んだかと言うと、
だからです。
- ルイ・ブライユは1809年に生まれました。今から200年ほど前に、目が見えない人が文字を読んだり、
書いたりするための『点字』を作りました。私は点字を駅の中で / エレベーターで / 缶やペットボトルで
見たことがあります。目の見えない人用に点字ブロックなどがあることは知っています。私は
と思いました / 感じました。
- ルイや目が見えなくても、勉強がてき、音楽の才能がある子供でした。ルイは家族と離れて、遠いパリの
盲学校に入って勉強することになります。もし私がルイのように目が見えず、家族と離れてくらすと思うと、
なのではないかと思いました / 考えました。
- ルイはヴァランタン・アユイが作った『浮き出し文字』で勉強をし、元軍人であるシャルル・バルビエが
考案した12点からなる点字『ソノグラフィー』をもとに、6点の点字を発明しました。目が見えないルイの
視点から考えられた、読みやすく、書きやすい文字。楽譜・計算もできる『点字』が誕生しました。
- 私は、点字が生まれた経緯を知って、
と思いました / 感じました。
- もし、ルイが使いやすい点字を発明しなかったら、
なのではないかと思いました / 考えました。
- 私は【よりよくしようと努力 / 改善した体験 / 「もっとこうすればいいのに」と思った出来事】
①状況の説明：いつ・どこで・だれが / だれに ②行動：きっかけ / 理由・何を・どうした・どのように /
どのくらい・なぜ / どうして ③状況 / 心の変化：どうなったのか、どう思ったのか、何が変わったか
ということがありました。
- そのこと / 経験から、(もっとよくしようと思うことは / あたりまえのことに対する疑問を持つということは / 少しでも
いいものを作りたいと思うことは / 不便や不快をそのままにしておくということは)
と思いました / という気持ちがわかります。
- ルイは、現在公共施設や生活空間で言われる『ユニバーサルデザイン』を200年前に実現した人だと
思います。ユニバーサルデザインとは高齢者や障がいの有無に関わらずに、誰でも公平に利用できるもののこと
です。目が見える人が考案した『浮き出し文字』や『ソノグラフィー』ではなく、実際に使うルイたちが考案した
6点の点字こそが、
と思いました / 感じました。

□ ルイのつくった点字は、文字だけでなく計算や楽譜を読んだり、書いたりすることもできました。

□ 目の見えない人たちの学問や音楽の才能 / 可能性 / 未来を広げることができるようにになりました。

□ 目が見えないというだけで、勉強する機会 / チャンスを与えられないのは、

と思いました / と感じました。

□ ルイが努力して作り上げた点字を支持して / 応援して / 喜んでくれる人たちもいましたが、簡単には認めてくれない人たちもいました。私は

と思いました / と感じました。

□ ルイは43歳で亡くなってしまいましたが、ルイが残した点字で、目の見えない人は / 障害のある人は

なのではないかと思いました / 考えました。

□ ルイの亡くなった後、ルイの点字は正式にフランス政府に認められました。ルイの考えた使いやすい点字は、フランスだけでなく、ヨーロッパ各地から世界、日本へと広がっていきます。ルイの点字による楽譜も国際的な基準として採用されました。私は、

と思いました / と感じました。

□ ルイはフランスに偉大な貢献をした人をまつる墓所『パンテオン』へ埋葬されました。記念式典には、ヘレン・ケラーも参列しました。誰もが知っている偉人が、ルイの点字の恩恵を受けていると知って、

と思いました / と感じました。

□ ルイ・ブライユのことを詳しく知って、ルイの偉業 / ルイのつくった点字について、一番感度した / 記憶に残った / みんなに教えたい / 偉大だと思った / すごい！と思ったことは、

です。

なぜなら、

だからです。

□ ルイは、今でも多くの目の見えない人に強い影響 / 学ぶチャンスを与え続けています。ルイは点字を作っただけではなく 目の見えない人の可能性 / 視覚障がい者の学ぶチャンス / 障害の有無を超えたコミュニケーション / よりよいユニバーサルデザインのあり方

を考える一因 / きっかけ / 機会を作ったと思います。

□ だから、ルイの作った点字は、目の見えない人にとって / 障がい者にとって / 私たちにとって / 人類にとって

と思いました / と感じました。

□ 私はこのことから、

ということを学びました / 考えました。